



私たちのくらしに欠かせない水

「水道決算」って、どうなってるの？

毎年、10月に昨年度の一般会計と特別会計、そして公営企業（水道事業）の決算特別委員会が行われます。各会派からに人数に応じて（共産党市議団は2名）特別委員として出席します。2013年度は私と南畑議員が審議に参加しました。

◆水道決算報告

水道事業会計は単式会計の一般会計と異なり、複式会計をとっています。市民のみなさんが使用料として払う水道料金や新しく水道を引くときに収める加入金などの「収益」と浄水場や給水管などの「資本」の2本立てになっており企業会計方式とも言います。

◆なぜ、水道だけ？

小・中学校やコミュニティセンター、市民会館などの公共施設は一般会計で建設されるのになぜ水道だけが別立てなのでしょう。かつての水の供給は川や井戸が一般的で水道は特別な人だけが受けているものでした。したがって水道事業だけを独立させ、採算性が取れることが基本になっていくのです。

◆これからの水道事業

現在、和歌山市は未給水地区が残っているものの、100%に近い給水となっています。もはや、特別な人だけが受ける行政サービスではなくまりました。今後、地震に対応するための施設整備や大滝ダムの減価償却費などで多くのお金が必要となるとともに、市民の節水意識もかなり向上しており、水道料金の収益も見込めません。資本会計のままでは、減価償却費がふくらんだ時、水道料金に転嫁



季節の変わり目で気温が高くなったり低くなったり、ジェットコースターのような日が続いています。とりわけ朝夕と昼間の気温差が大きく、体調に異変を来す方が増えてきているようです。これからは調節できる服装が必要ですね。また、食生活も大切です。これから野菜も魚も旬を迎えるものがたくさん出てきます。乾燥による風邪やインフルエンザが蔓延する冬を前に、今から抵抗力をつけておきましょう。

日本共産党

かとうなおと
加藤直人
です



近頃、初めて会う人

に共産党の話をする人が多い。初対面の人といきなり政党・政治がらみの話に面食らうのか「はい、はい」と迷惑がられたり、間髪入れず「共産党は嫌いや」「自分は自民党や」とシャットアウト。双方心がざわつく。政党支持について普段から闊達に議論することなど慣れていない。初対面が輪をかける。セールスと混同されたり。しかし、天候や季節、庭木

や旬の食べ物、野球や新聞の話題、釣りやゴルフなど趣味の話であれば初顔合わせでも案外共感できるのでは。きっとその後なら共産党や政治について率直な一言が聞けるかも。共産党の外交、経済、社会保障政策のどれを取っても国民の9割以上、圧倒的国民の支持を得ることのできる政治革新目標はず。そう、現状はうまく理解されていかないだけ。先のシャットアウトの人の心に響く接近と粘り強さと寛容の精神を發揮しよう。国民が真実をつかんだときに初めて社会は大きく変革する。

されることも考えられます。

決算委員会では、国や県からの補助金を増やすこと、一般会計からの繰り入れをすることで水道料金にはね返らない方法の検討を求めました。また、水道事業も企業会計ではなく一般会計で行うことも視野に入れるべきではないかと意見を述べました。

有収率は中核市中最低（83.02%）です。

漏水の大きい原因は送水管や給水管の老朽化です。漏水箇所を調査するとともに、市内をブロックに分けて細かく有収率を割り出し、計画的に管を入れ替えることが必要です。有収率をせめて中核市平均並みにするためにはまだ、10%近く引き上げなければなりません。和歌山市の目標でいくとこれから14年かかることとなります。

◆有収率の向上を

有収率一各家庭に配水した水のうち料金になる水の割合を示したもの

安全な水を安心して使うためには、衛生管理はもちろん、安定供給が必要です。和歌山市は漏水が多いため、

決算委員会では目標値をさらに引き上げ、体制も整えて、漏水対策を急ぐ必要があると指摘をしました。

議会報告

9月18日に開会された定例市議会は、代表質問、一般質問、各常任委員会の審議を経て、10月9日、提案された議案すべてが賛成多数で可決され閉会しました。日本共産党市議団は提案された議案のうち、問題点のある5件に反対し11件に賛成しました。

個人情報を守るのか？

―社会保障・税番号制度―

市は今回の補正で情報システム構築事業として2160万円、税総合システム改修事業として4254万8千円をそれぞれ計上し、住民基本台帳の個人情報を一元化しようとしています。国民1人1人に番号を付け、すべての税金に関する情報、国民年金、国民健康

に関する情報、国民年金、国民健康保険、介護保険、障害者福祉や児童福祉などが対象となり、情報は「言えない」との答弁でした。内閣府の世論調査でも70%が「不安だ」と答えています。プライバシー侵害や不正使用による被害に確たる対応ができない現状での実施はするべきではないと指摘しました。



えっ？まさか！ 中央卸売市場 整備計画は丸投げ？

中央卸売市場が老朽化していることから建て替えが必要となっています。建て替えることそのものについては反対するものではありませんが、実施主体は市であるはずなのに、基本計画そのものが方向性さえ定まっていざなうことが審議の中で明らかになりました。市民の台所といえる卸売市場のこれからのあり方については、市が責任を持って基本計画を作るべきです。

和歌山市みんなでとりくむ 生き生き健康づくり条例 (案)

和歌山市議会では超党派で和歌山市議会政策上例策定協議会をつくり、条例の策定を積極的に進めています。市議団からは姫田議員と渡辺議員が協議会委員として選出されています。

今回は「和歌山市みんなでとりくむ災害対策基本条例」を制定しました。2つめの条例は健康づくりがテーマで、10月8日に「和歌山市みんなでとりくむ生き生き健康づくり条例 (案) の経緯と概要、条文案が示されました。

この条例は健康づくりに関する基本的な事項を定め、全ての市民が健やかに生活することができる地域社会を実現することを目的としています。条文案の全文は和歌山市のホームページから見るができます。



<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/seisaku/joreisakutei/kenkozukurijorei/joreian.pdf>

この条例案は、パブリックコメントを経て、制定されます。みなさんのご意見をたくさんお寄せください。



- ◆意見募集は11月14日(金)まで。
メール、郵送、ファクス、議会事務局まで持参などの方法があります。
- ◆お問い合わせ
議会事務局 435-1120 まで



さっちゃんまつり 11月9日(日)11:00より 鳴神社広場にて

いよいよです！みなさんのご参加 お待ちしています！



予約が必要です。事前にお電話をお願いします。
市役所 共産党議員団直通 森下さち子まで
Tel 435・1113

無料 法律相談

- 11月17日(月) 18:00～
- 11月27日(木) 13:00～
- 12月16日(火) 13:00～
- ★12月は1回のみとなります



(10月のブログより抜粋・編集)

「さっちゃんはね・・・♪」
●秋晴れで汗ばむほどの陽気の中、生協祭りに店を出しました。「さっちゃんのみせ」の家主として顔見せしながら、焼トウモロコシ、栗あこわ、フランクフルト、おにぎりを販売。知り合いの方がたくさん店に寄って、買ってくださってうれし限りです。事業活動としてだけではなく、みなさんと話せたり、久しぶりに顔を見ることができるとも出店の醍醐味かもしれません。

